

2020年11月28日(土)13:00~16:00

<テーマ>

コロナ禍における

本人と家族に対する
支援の現状と課題

参加費無料

~いま、ソーシャルワーカーに求められる支援力へ

<第1部>

○講師による話題提供

- ◆山木 暢彦氏(鶴見区基幹相談支援センター)
- ◆中尾 健太郎氏(横浜市東部地域療育センター)
- ◆築田 晴氏(高輪地区高齢者相談センター)

○質疑応答

<第2部>

○グループワーク

- ・ブレイクアウトルームに分かれて意見交換
- ・各福祉現場での取り組み状況の共有
- ・新たなニーズと今後の課題

○グループごとの意見集約とまとめ

ZOOM
によるオンライン研修

* 本研修会は、社会福祉の諸領域で活躍する社会福祉実践家の皆さんの学びの場です。参加申し込み要領は4ページをご覧ください。参加費はかかりません。

コロナ禍における 本人と家族に対する支援の現状と課題 ～いま、ソーシャルワーカーに求められる支援力～

●2020年1月16日に国内での新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、その影響は徐々に拡大し、3月には学校や公共施設の利用が制限・停止されることとなりました。そして福祉関係においてもその影響は免れず、感染防止を目的としてデイサービス等の通所事業が停止されたほか、施設サービスにおいても外部利用者の受け入れの中止、面会制限、イベント等の活動縮小、利用者に在宅での活動を依頼する等の事態に及びました。新型コロナウイルスによる感染は、9月現在においてもその収束を見通すことができず、今後も拡大がつづく様相を呈しています。

●こうした状況下において、対人支援の現場では、医療崩壊・介護崩壊の瀬戸際という報道がされるなか、ソーシャルワーカーが対応すべき生活課題は顕在化しているといわれています。そこで、2020年度「第34回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」では、コロナ禍における福祉現場の対応について取り上げ、その実態を共有するとともに、今後の支援課題を明らかにすることを目的としたと考えています。これまでに経験したことのない「ウイルス感染」という社会状況において、福祉の現場ではいかなる対応がしいられ、どのような新たなニーズが確認されたのでしょうか。とりわけ、施設機能が滞る中で利用者とその家族にはどのような影響があったのでしょうか。これらのことに焦点をあてながら、いま、ソーシャルワーカーに求められる支援力について検討していく場としていきたいと考えています。

●開催方法に関してですが、2020年度研修会は、ZOOMを使ったオンラインによる参加となります。秋学期以降も、大学構内への立ち入りが制限されていますので、ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。（申し込み方法に関しては4頁をご参照ください）

●具体的な企画内容は――、

第1部では、3人の講師をお迎えし、コロナ禍における本人と家族に対する支援の現状と課題について、それぞれ話題提供をしていただきます。参加者の双方向な意見交換を目的として、ZOOMチャット機能を駆使しながらおこないたいと思います。

第2部では、グループワークをおこないます。ブレイクアウトルームでのセッションとなります。第1部での講師の先生方のお話をうけて、参加者のそれぞれの福祉現場での取り組みについて出し合ってください、共有していきたいと思います。意見集約ののち、本研修の主題である「いま、ソーシャルワーカーに求められる支援力」とは何かについてまとめていきたいと思えます。

山木暢彦氏

◆ご勤務先
鶴見区基幹相談支援センター



◆プロフィール

福祉系大学卒業後、社会福祉法人大樹「つるみ地域活動ホーム幹」に入職。生活介護事業等5年間従事。その後、同法人内で横浜市より委託を受けている「知的障害者自立生活アシスタント」を5年間担当。平成28年より、同法人内「鶴見区基幹相談支援センター」の相談員として現在まで従事。

中尾 健太郎氏

◆ご勤務先
横浜市東部地域療育センター



◆プロフィール

江戸川区役所（福祉部）在職中に障害者の生活介護に携わった後、横浜市にある地域療育センターに勤務。主に就学前の障害児を対象とした通園療育に携わるが、学齢期においては教職員を対象に発達障害に関する研修やコンサルテーションを行い学校支援にも携わってきた。その他、神奈川県社会福祉士会では実習指導者講習会の講師を務める。

築田 晴氏

◆ご勤務先
港区高輪地区高齢者相談センター
（地域包括支援センター白金の森）



◆プロフィール

明治学院大学社会福祉学科卒業。民間企業で企画・営業職を経て福祉業界へ。介護現場経験の後、在宅介護支援センターや地域包括支援センターで社会福祉士として総合相談業務にあたり約20年となる。港区では高齢者のアウトリーチ事業のモデル事業も担当。現在は地域包括の管理者。プライベートでは成年後見人の活動を実施。

<参加申込要項>

- (1) 開催日時 **2020年11月28日（土）**
13:00～14:55 第1部 講師による話題提供
14:55～16:00 第2部 グループワーク
- (2) 会場 明治学院大学白金キャンパスを発信地とするオンライン研修会
(大学住所 東京都港区白金台1-2-37)
- (3) 対象 原則として、現在社会福祉の諸領域にて実践活動を行っている方です。
- (4) 参加費 かかりません（第1部・第2部を含む）。
- (5) 申込方法 *** 2020年10月21日（水）より、申込受付を開始いたします**
締め切り日：2020年11月23日（月）午後5時

以下の所定事項①～⑥を記入し、Eメールで申込先へお送りください（FAXも可）。
折り返しZOOM招待URLをお送りします。

1週間以上、Eメール（またはFAX）への返信がない場合は、お手数ですが、TELで再連絡をお願いいたします。

<研修会申込に必要な所定事項>

- ①氏名（ふりがな）
- ②所属先と職名、所属先の所在地（都道府県名）
- ③社会福祉実践家としての実務年数
- ④本申込に関する問い合わせ先としてのTEL・Eメールアドレス（またはFAX）
- ⑤社会福祉実践に関わる所持資格（例：社会福祉士・精神保健福祉士等）
- ⑥（該当者のみ）明治学院大学卒業の方は卒業年

個人情報の取扱いについて：明治学院大学社会学部付属研究所では、申込時における個人情報について「学校法人明治学院個人情報保護方針」に副って厳重に管理いたします。これらの個人情報は、明治学院大学社会学部付属研究所の「社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」ご案内用としてのみ利用いたします。第三者には提供いたしません。

<詳細・申込先>

明治学院大学社会学部付属研究所

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Eメール: issw@soc.meijigakuin.ac.jp

TEL: 03-5421-5204・5205 FAX: 03-5421-5205

※お申込みの際には、「第34回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」参加申請であることをご記入ください。